

## 日本原子力学会 炉物理部会 第 62 回全体会議 議事録

日時： 2025 年 3 月 13 日（木） 12:05～12:55

場所： 日本原子力学会 2025 年春の年会 C 会場（Zoom）

参加者： 40 名程度

### 【審議事項】

#### 1. 令和 6 年度決算、令和 7 年度予算について

資料 62-01 を用いて、財務小委員会担当幹事より、令和 6 年度決算と令和 7 年度予算について報告され、承認された。

#### 2. 令和 7 年度運営小委員会について

資料 62-02 を用いて、部会長より令和 7 年度の炉物理部会運営小委員会の体制案が紹介され、承認された。

#### 3. 2025 年秋の大会企画セッションについて

資料 62-03 を用いて、学術交流小委員会担当幹事より、2025 年秋の大会の企画セッションについて案「STACY 更新炉の最前線と今後の展望」が紹介され、準備を進めていくことが承認された。

### 【報告事項】

#### 4. 炉物理部会 ML の利用促進ルールの制定について

資料 62-04 を用いて、部会長より部会内コミュニケーション活性化のために炉物理部会メーリングリスト利用促進ルールの制定することを運営小委員会にて決定した旨が報告された。

#### 5. 炉物理部会賞（学生・若手優秀講演賞）の新設について

資料 62-05 を用いて、部会長より学生・若手研究者/技術者の研究開発活動エンカレッジのため優秀講演賞を新設することを運営小委員会にて決定した旨が報告された。

C. 第 4 条の所定用紙は所定様式の方が今の環境に則しているのではないかな？

⇒ 修正を検討する。

#### 6. 第 56 回炉物理夏期セミナー開催計画

資料 62-06 を用いて、セミナー小委員会担当幹事より第 56 回夏期セミナーの準備状況が報告された。炉物理研究室学生や炉心燃料設計を行っている炉物理技術者だけでなく電力事業者にも声掛けをしていきたい。資料中の参加費は炉物理部会員のみの金額記載だが、炉

物理部会員以外の参加も可能。参加費は過去の例を鑑みて、部会員と金額差をもうける。

#### 7. 炉物理部会報の発行状況について

資料 62-07 を用いて、編集小委員会担当幹事より炉物理部会報“炉物理の研究 第 78 号”を 2025 年 3 月 7 日に公開したことが報告された。今年度は第 77 号 (PHYSOR 特集号) と第 78 号を発刊することができ執筆協力いただいた方に対して謝意が示された。

#### 8. その他

- ✓ 名古屋大学 遠藤准教授より、約 1 年後の 2026 年 4 月 19 日～23 日にイタリア、トリノで開催予定の PHYSOR2026 についてアナウンスがあった。開催まで 1 年と時間もあるので、各大学研究室の所属学生や各研究機関・企業の若手エンジニアに発表を促してほしい旨、周知された。

なお、フルペーパーの投稿は 2025 年 4 月末から開始し、10 月末まで受付締切の予定。

<https://www.physor2026.org/>

- ✓ 京都大学 下准教授より、JNST 炉物理特集号に対して GW まで募集しているので若手や学生に是非頑張って投稿してほしい、掲載料は無料の旨がアナウンスされた。

[https://think.taylorandfrancis.com/special\\_issues/progressive-reactor-physics-for-current-and-future-challenges/](https://think.taylorandfrancis.com/special_issues/progressive-reactor-physics-for-current-and-future-challenges/)

以上